

【美里町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

町内では「美里町第2次教育振興基本計画後期計画」において「小さくてもキラリと光る美里町の教育の推進」を基本理念としています。その中で、効果的な ICT の活用として授業だけでなく日常的に学習用端末による意見交換や作品制作、振り返り等に生かす環境をめざしています。

2. GIGA 第1期の総括

本町では、令和2年度末に児童生徒一人一人に学習用端末されました。学習用端末の導入に際し、全教職員への研修を数回開催し、スキルアップや活用事例等の紹介を重ねてきました。教育委員会では、ICT 支援員を配置し、各校でも校内研修に ICT 研修を位置づけ、授業への活用を図ってきました。令和3年度には本町が「くまもと GIGA スクールプロジェクト拠点地域」に指定され、町内小・中学校全校が「学校情報化優良校」と認定されました。

3. 1人1台端末の利活用方策

本町では、令和7年度から令和9年度にかけて町内小・中学校5校の端末更新を計画しており、更新にあたり各学校及び関係課が情報共有を図りながら、更新作業を進めていく予定としています。さらに、適切なネットワークアセスメントを行うことで、児童生徒にとって充実した1人1台端末の環境を維持していくことを目指します。

(1) 1人1台端末の積極的活用

校内での ICT 研修や町内で設置している ICT 支援員からの指導等により教職員の ICT 活用能力の向上をさせ、学習活動の質を向上させることを目指します。また、校内学習・家庭内学習を充実させるためにデジタル教科書やデジタルドリルなどを活用し、生徒一人ひとりのペースに合わせて学習を進めること環境を整えます。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が、自ら調べたり、考えをまとめたり、発表・表現したりする場面において、1人1台のタブレット端末を活用し、より主体的に学習に取り組む授業づくりを推進していきます。また、児童生徒が互いの考えを共有し、自身の考えを深めていける協働的な学びを充実させることを図っていきます。

(3) 学びを保障

不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障がいのある児童生徒等に対して、1人1台端末を活用することで、学びの幅を広げ、様々な状況の児童生徒の学習機会を確保します。